

平成29年度富谷市立あけの平小学校 学校関係者評価書

平成30年 2月 9日

学校関係者評価委員会

1 総評

(1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

- 読書活動充実に向けた様々な取組が読書習慣の向上に大きく寄与している。
- たてわり活動は、教員も保護者も高く評価しており、児童の心を育てる活動とし実践されている。
- 分かる授業づくりについては、保護者アンケートの結果からも昨年より5%以上アップしている。学校の様々な取組が学力学習状況調査や、CRTテストの結果となって表れ理解されてきている。
- 職員の和を大切にしたい明るい職場作りに努めており、子供たちの表情や保護者の安心感に表れている。
- 職員間のコミュニケーションがよく、問題を全職員が共通理解のもと、全体で取り組む体制づくりがすばらしい。

(2) 成果について

- 学校の自己評価に基づき、学校運営の改善に努めていることは高く評価できる。
- 保護者アンケートの結果「学校は楽しい」という項目が向上しており、魅力ある学校づくりに取り組んでいる学校の努力の成果が表れている。
- 保護者アンケートの自由記述などからも保護者の学校に対する関心の高さや、学校と共に子供を育てるといった意識の変化を感じる。

(3) 課題や改善を要する事項について

- 挨拶についてはまだまだ個人差が見られる。
- いじめ対策についての学校の取り組みを保護者・地域に周知する工夫が必要である。
- 健康推進委員等を活用した食育の一層の推進を図ってほしい。
- 道徳の教科化に向けて、評価の在り方を含め十分検討を進めてほしい。

2 各領域等の評価

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりや各学年・学級だよりが定期的に発行されており情報発信は十分行われていて、児童の成長の様子を知ってほしいという学校側の熱意を感じる。また、学校だよりは町内回覧されており、地区内の方々にも学校のことを知ってもらう機会となっている。 ・研究や実践の成果はある程度のスパンで見えていくものである。努力を信じて地道に取り組んでほしいと思う。 ・防災マニュアルの見直しや引渡訓練などの継続実施等安全への意識の高さがうかがえる。
	2 魅力ある学校	A	
	3 施設・設備	B	
	4 安全管理	A	
	5 教職員の資質の向上	A	
	6 特色ある教育活動等	A	
教育課程	1 確かな学力	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に向けて、学年や学年部で足並みを揃えて実践を累積してもらいたい。 ・6年間を見通した安全教育が計画的に進められている。 ・たてわり活動の意義が十分理解されており、目標がしっかり達成されていることはすばらしい。
	2 豊かな心身	A	
	3 特別活動	A	
	4 生徒指導・教育相談	A	
	5 特色ある教育活動等	A	
課題教育	1 環境教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「家読」の推進、「調べる学習コンクール」への積極的な参加など、図書館を活用した教育実践が児童の読書習慣形成に生かされている。 ・空き缶回収などの取組が大変すばらしい。 ・生活習慣の形成について、学校と家庭との温度差があるようだ。粘り強く働き掛けをお願いしたい。 ・インクルーシブ教育の取組強化は社会の流れでもあるので、環境整備にも最大限の配慮をしてほしい。
	2 特別支援教育	A	
	3 図書館教育	A	
	4 健康教育	B	
	5 特色ある教育活動等	A	
地域との連携について		A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの方々の活動内容を学校だよりなどで数多く取り上げており、ボランティア活動の認知度が格段に上がった。 ・読み聞かせのボランティアを子供たちも大変楽しみにしている様子である。